

地域医療に関するアンケート調査

[調査報告書]

令和元年 11 月

全国健康保険協会 鹿児島支部

目次

1. 調査の概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査対象者	1
(3) 調査時期	1
(4) 回収結果	1
(5) 集計上の注意点	1
(6) 回答者の属性	1
2. 調査結果の概要	3
(1) かかりつけ医について	3
(2) 通常の診察時間以外における病院の受診について	3
(3) 地域の医療に対する満足度について	4
(4) 地域医療構想について	4
(5) 地域医療に対するニーズについて	5
(6) 協会けんぽに意見発信を期待する事項について	6
3. 調査結果	7
(1) 回答者属性	7
① 性別	7
② 年代	7
③ 居住地域	7
④ 医療機関の受診状況	8
(2) かかりつけ医について	10
① かかりつけ医の有無	10
② かかりつけ医がない理由	12
③ かかりつけ医を探すときに役立つ情報	14
(3) 通常の診療時間以外における受診について	16
① 最近1年間の時間外診療受診の有無	16
② 時間外診療を受診した理由	18
③ 時間外診療を受けなかった理由	20
④ 「コンビニ受診」を減らすための施策	22
(4) 地域医療に対する満足度	24
① 居住地域の医療に対する満足度	24
② 地域の医療施設の数について	26

③ 地域に「無くて困ってる」または「無いと不安である」診療科について.....	28
(5) 地域医療構想について.....	30
① 地域医療構想についての認知度.....	30
② 地域医療構想の背景にある課題についての認知度.....	32
③ 医療機関の種類（一次～三次）とそれぞれの役割に関する認知度.....	34
④ 「地域医療構想」における医療機関の機能についての認知度.....	36
(6) 地域医療に対するニーズ.....	38
① 受診の仕組みの認知度.....	38
② 紹介状利用の際、医療機関の連携に期待すること.....	40
③ 在宅医療の必要性について.....	42
④ 在宅医療等支援体制の整備状況.....	44
⑤ 在宅医療等促進のための環境整備.....	46
⑥ 将来の地域医療における重要な役割と課題.....	48
(7) 協会けんぽに意見発信を期待する事項.....	50
4 調査票.....	53

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

協会けんぽ加入者の地域医療に関する意識や意見、要望等を把握し、関係者への発信等、保険者機能発揮のための企画立案に資する基礎資料とする。特に、「地域医療構想」の策定のための協議の場において、加入者のニーズが地域の医療に取り入れられるよう、貴重な加入者の生の声として発信していく。

(2) 調査対象者

鹿児島医療圏及び南薩医療圏において、協会けんぽ鹿児島支部に加入している事業所の事業主及び健康保険委員（合計 2,213 件）

※協会けんぽの健康保険事業の推進のため、広報・相談・モニター等にご協力いただく被保険者の方を「健康保険委員」として委嘱しています。

(3) 調査時期

令和元年 9 月

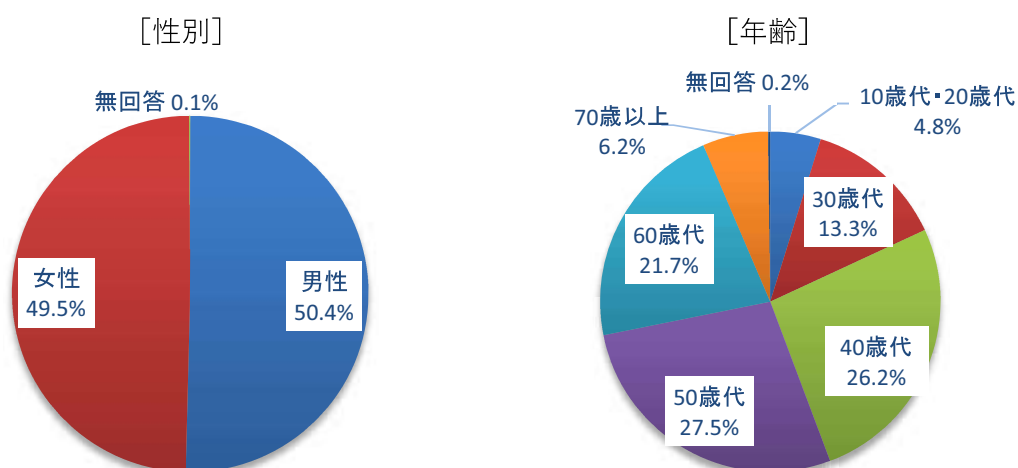
(4) 回収結果

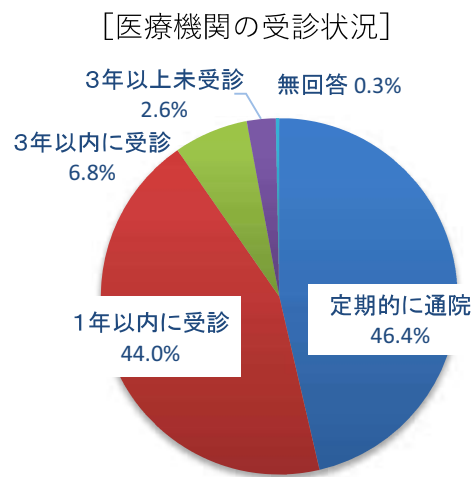
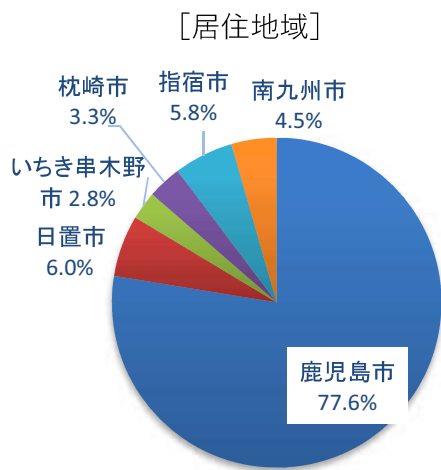
有効回答数 962（回収率 43.5%）

(5) 集計上の注意点

集計結果は百分率で算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、百分率の合計が 100%にならない場合があります。

(6) 回答者の属性





2. 調査結果の概要

協会けんぽ鹿児島支部の加入者等 962 人（男性 485 人、女性 476 人）を対象に、地域医療に関するアンケート調査を実施した結果の概要は、以下のとおりです。

(1) かかりつけ医について

- 約 5 割は「かかりつけ医がいる」。
- かかりつけ医を探すときに役立つ情報は、子育て世代は「時間外、緊急時の対応」、60 歳以上の世代は「往診などの在宅医療の可否」。

「かかりつけ医」については、約半数が「かかりつけ医がいる」と回答しており、その約 8 割が定期的に医療機関を受診している者であった。一方、かかりつけ医のいない理由としては、「現在、健康でかかりつけ医をもつ必要がないから」という回答が最も多かった。かかりつけ医を探すときに役立つ情報としては、子育て世代（30 歳代、40 歳代）では、「時間外、緊急時の対応」と回答する者の割合が、他年代に比較して高い傾向がみられた。また、60 歳以上の世代では、「往診などの在宅医療の可否」と回答する割合が他の世代よりも高い傾向にあった。

(2) 通常診察時間以外における病院の受診について

- 最近 1 年間で時間外診療を受けた人は約 1 割。理由は、「夜間あるいは休日に急に体調が悪くなった（けがをした）」が多いが、40 歳代と 50 歳代で「平日日中は医療機関に行く時間がない」が他年代より多くなっている。
- コンビニ受診を減らすための施策は、全体では「夜間専門医院の開設」が多いが、10 歳代と 20 歳代では「受診のために休暇を取りやすくする環境の整備」が、子育て世代（30 歳代、40 歳代）では「小児救急電話相談（#8000）など救急相談機関の周知徹底、取組の推進」が最も多く、年代によってばらつきがあった。

「時間外診療」に関する質問では、最近 1 年間の時間外診療については約 9 割が「ない」と回答し、年代が上がるにつれて、時間外診療を受けてない比率が 60 歳代をピークに高くなった。時間外診療を受診した理由は、全年代において「夜間あるいは休日に急に体調が悪くなった（けがをした）」という回答が最も多かったが、「平日日中は医療機関に行く時間がない」という回答の割合が、40 歳代と 50 歳代において突出して高かった。

時間外診療を受診しなかった理由としては、70 歳代以外は「医療機関に行く機会（必要）がなかった」という回答が最も多かったが、70 歳代では「平日の日中に行くようにしている」との回答が最多であった。

地域別では、65 歳以上の高齢者が多い市町村ほど「平日の日中に行くようにしている」と回答するものが多い傾向が認められた。

コンビニ受診を減らすための施策としては、全体では「夜間専門医院の開設」と回答し

た者の割合が最も多かった。

年代別では、子育て世代（30歳代、40歳代）で「小児救急電話相談（#8000）など救急相談機関の周知徹底、取組の推進」と回答した者の割合が最も高かった。10歳代、20歳代では、「受診のために休暇を取りやすくする環境の整備」と回答した者の割合が最も高かった。

(3) 地域の医療に対する満足度について

- 地域医療への満足度は、約 3/4 が「満足している」。年代が上がるにつれて満足度が高くなる傾向がみられる。
- 約 8 割が、医療施設の数に満足しているが、10歳代と20歳代では「産婦人科」、子育て世代では「小児科」、40歳代では「眼科」、50歳代は「脳神経外科」と「皮膚科」、60歳以上では、「眼科」と「脳神経外科」と回答する者が多い。

「地域医療への満足度」に関する質問では、回答者の 3/4 が「満足している」と回答し、年代が上がるにつれて満足している割合が上昇していた。一方、地域医療に対する不満については、全体の約 15%が「満足していない」と回答しており、年代が上がるにつれて不満度が低下する傾向がみられた。

鹿児島市以外の地域において、人口 10 万人あたりの小児科系診療所数が少ないほど、地域医療に対する不満度が高くなる傾向がみられた。

医療施設の数については、全体の約 8 割が現状の医療施設の数に満足していた。

「地域に無くて困っている」または「無いと不安である」診療科は、「眼科」と「皮膚科」が多かった。

30歳代では、半数近くが「小児科」と回答しており、他の世代より高率であった。また、10歳代、20歳代では「産婦人科」、40歳代では「眼科」、50歳代では「脳神経外科」と「皮膚科」、60歳以上の高齢者では、「眼科」および「脳神経外科」と回答する者が多く、それぞれの年代で直面する可能性の高い傷病に対応する診療科が望まれていた。

(4) 地域医療構想について

- 「地域医療構想」およびその背景にある課題の認知度は 1 割に満たない。約 6 割が「知らない」と回答している。
- 医療機関の種類および役割の認知度は 1 割程度にとどまっている。
- 医療機関の機能（高度急性期、急性期、回復期、慢性期）について、半数近くが「知らない」と回答しており、周知が行き届いていないことが明らかになった。

「地域医療構想」に関する質問では、「鹿児島県が策定した地域医療構想について知っているか」という質問や地域医療構想の背景にある課題に対し、約 6 割が「知らない（初めて聞いた）」と回答しており、多くの県民が地域医療構想に関する知識がないことが明らかになった。

医療機関の種類および役割に関する認知度については、「知っていて、どの医療機関が該当するかわかる」と答えたのは全体の12.1%に過ぎなかった。

「地域医療構想」における各医療機関の機能（高度急性期、急性期、回復期、慢性期）の認知度については、半数近くが「知らない、(初めて聞いた)」と回答しており、周知が行き届いていないことが明らかになった。

(5) 地域医療に対するニーズについて

- 紹介状の仕組みについて9割近くが理解しており、認知度は非常に高い。また、紹介状利用の際の医療機関の連携に対して、利便性よりも医療の質の向上を期待する人が多い。
- 8割を超える人が、在宅医療が必要であるとしている。
- 在宅医療等支援体制の整備状況に対して、過半数が「わからない」としている。また、「受け皿となる介護施設や在宅医療・介護サービスの整備」が在宅医療等促進のために必要であると考えている人が多い。
- 将来の地域医療に、「五大疾病対策」や「認知症対策」が重要な役割や課題であると考える人が多い。地域別では、日置市、南九州市、南さつま市は、「病院までの交通手段の確保」との回答も多い。

病気になった場合、まずかかりつけ医を受診し、専門的な検査等が必要な時に紹介状を持って急性期病院を受診するという仕組みについては、全体の9割近くが本仕組みを認識していることが明らかになった。しかし、中高年層（30～50歳代）は他年代に比較して本仕組みを認識はしているが、内容を理解していないものが多いという結果が得られた。

紹介状利用の際、医療機関の連携に期待することとしては、利便性よりも、医療の質の向上を期待するものが多かった。

在宅医療の必要性については、全体の8割以上が「必要」と回答していた。男女別では、男性の方が「必要」と回答している割合が高く、年代別では、40歳代で「必要」と回答する割合が最も低く、介護される世代になるにつれて「必要」と回答する割合が増加していた。

在宅医療等支援体制の整備状況に関する質問では、過半数以上の人が在宅医療支援体制等について知らないという結果が得られた。居住地域別では、鹿児島市と日置市において「整っている」と回答する割合が高く、南九州市、南さつま市および指宿市で、「整っていない」と回答した割合が高かった。

在宅医療等促進のために必要と考える環境整備については、「受け皿となる介護施設や在宅医療・介護サービスの整備」が最も割合が高かった。

将来の地域医療において重要と考えられる役割や課題については、「五大疾病対策」および「認知症対策」と回答した人が多かった。日置市、南九州市、南さつま市では、「病院までの交通手段の確保」と回答した人が多かった。

(6) 協会けんぽに意見発信を期待する事項について

- 全体では、約5割が「救急・緊急医療の充実化」や「高齢者医療・介護体制の充実」と回答している。
- 年代別にみると、若い世代は「地域への高度医療導入」「救急・緊急医療の充実化」に関する意見発信を、協会けんぽに期待しており、中高年層では「高齢者医療の充実」「在宅医療、介護者へのケアの充実」に関する意見発信を、協会けんぽに期待している。

協会けんぽに意見発信を期待する事項について、全体では「脳卒中や心筋梗塞などの発症初期等の緊急時（待てない・選べない状況等）の速やかな受療」や「高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、生活できるような医療・介護体制の充実」と回答する人が多かった。

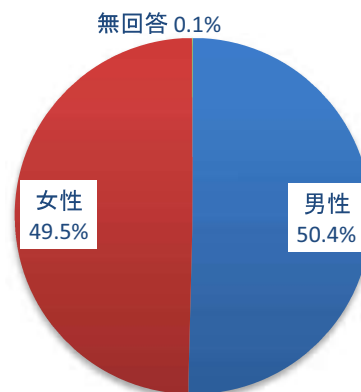
世代別では、若い世代ほど「地域への高度医療導入」、「救急・緊急医療の充実化」、年代が上がるにつれて「高齢者医療・介護体制の充実」、「在宅医療、介護者へのケアの充実」に関する要望が高くなっている。

3. 調査結果

(1) 回答者属性

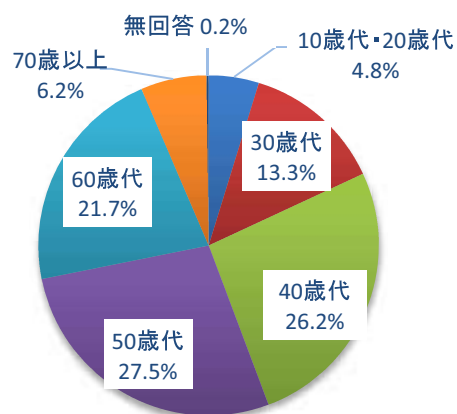
① 性別

対象は協会けんぽ鹿児島支部の加入者等 962 人で、内訳は男性 485 人 (50.4%)、女性 476 人 (49.5%) であった。



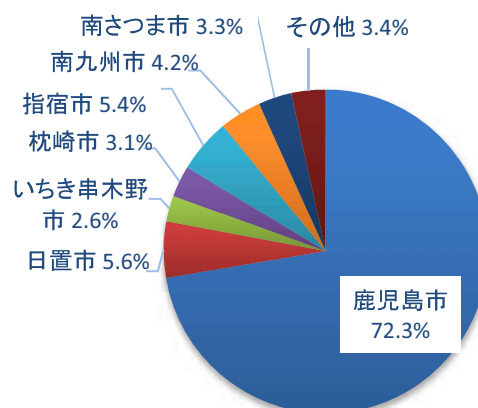
② 年代

年代別では、10～20 歳代 46 人 (4.8%)、30 歳代 128 人 (13.3%)、40 歳代 252 人 (26.2%)、50 歳代 265 人 (27.5%)、60 歳代 209 人 (21.7%)、70 歳以上 60 人 (6.2%) と、40～60 歳代の中高年層が回答者全体の 4 分の 3 を占めた。



③ 居住地域

回答者の居住地域については、鹿児島市 696 人 (72.3%)、日置市 54 人 (5.6%)、いちき串木野市 25 人 (2.6%)、枕崎市 30 人 (3.1%)、指宿市 52 人 (5.4%)、南九州市 40 人 (4.2%)、南さつま市 32 人 (3.3%)、その他 33 人 (3.4%) であり、当該地域間の人口比重と高い線形相関がみられた。

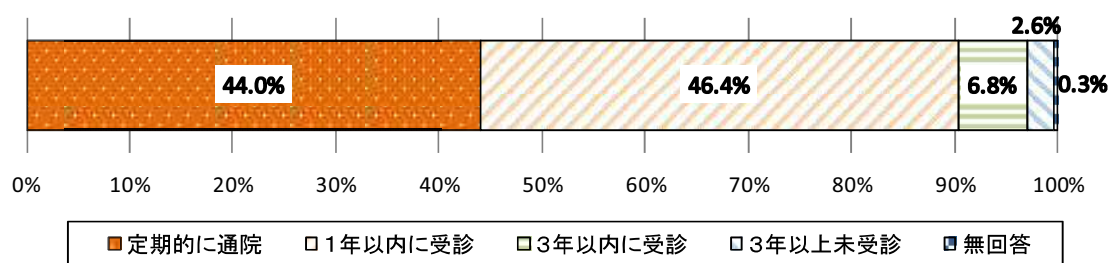


④ 医療機関の受診状況

回答者の医療機関の受診状況については、「1年以内に受診」と答えた人が全体の46.4%と最も多く、年代別では40歳代以下では、「定期的に通院している」人の割合が3割以下であったのに対し、50歳代以上では「定期的に通院している」と答えた人の割合が5割を超え、70歳以上では83.3%が「定期的に通院している」と回答していた。

居住地域別では、「定期的に通院している」と答えた人の割合は、指宿市で最も高く(53.8%)、鹿児島市(45.4%)と南九州市(42.5%)で低かった。一方、3年以上未受診の割合は、いちき串木野市で最も高かった(4.0%)。

[医療機関の受診状況]



問4 あなたは、病院や診療所（クリニック）などの医療機関にはどれくらい受診していますか。

		サンプル数	定期的に 通院	1 年 以 内 に 受 診	3 年 以 内 に 受 診	3 年 以 上 未 受 診	無 回 答
		上段:実数(人) 下段:割合(%)					
全体		962 100.0%	423 44.0%	446 46.4%	65 6.8%	25 2.6%	3 0.3%
性別	男性	485 100.0%	254 52.4%	185 38.1%	31 6.4%	14 2.9%	1 0.2%
	女性	476 100.0%	191 40.1%	238 50.0%	34 7.1%	11 2.3%	2 0.4%
	無回答	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
年代別	10歳代・20歳代	46 100.0%	8 17.4%	31 67.4%	5 10.9%	1 2.2%	1 2.2%
	30歳代	128 100.0%	34 26.6%	76 59.4%	16 12.5%	2 1.6%	0 0.0%
	40歳代	252 100.0%	69 27.4%	149 59.1%	20 7.9%	12 4.8%	2 0.8%
	50歳代	265 100.0%	135 50.9%	111 41.9%	14 5.3%	5 1.9%	0 0.0%
	60歳代	209 100.0%	149 71.3%	48 23.0%	8 3.8%	4 1.9%	0 0.0%
	70歳以上	60 100.0%	50 83.3%	7 11.7%	2 3.3%	1 1.7%	0 0.0%
	無回答	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
居住地	鹿児島市	696 100.0%	316 45.4%	311 44.7%	46 6.6%	20 2.9%	3 0.4%
	日置市	54 100.0%	26 48.1%	24 44.4%	3 5.6%	1 1.9%	0 0.0%
	いちき串木野市	25 100.0%	12 48.0%	11 44.0%	1 4.0%	1 4.0%	0 0.0%
	枕崎市	30 100.0%	15 50.0%	10 33.3%	4 13.3%	1 3.3%	0 0.0%
	指宿市	52 100.0%	28 53.8%	21 40.4%	3 5.8%	0 0.0%	0 0.0%
	南九州市	40 100.0%	17 42.5%	19 47.5%	4 10.0%	0 0.0%	0 0.0%
	南さつま市	32 100.0%	17 53.1%	11 34.4%	3 9.4%	1 3.1%	0 0.0%
	その他	33 100.0%	15 45.5%	16 48.5%	1 3.0%	1 3.0%	0 0.0%

(2) かかりつけ医について

① かかりつけ医の有無

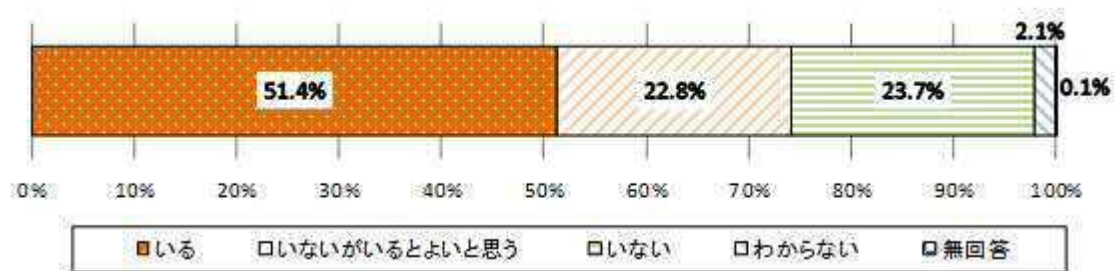
全体の約5割が、「かかりつけ医がいる」と回答していた。

定期的に通院している者の78.5%が「かかりつけ医がいる」と答えている一方、3年以上未受診の者の64.0%が「かかりつけ医がない」と回答しており、かかりつけ医の有無と受診頻度との間には相関があると考えられる。

年代別では、「かかりつけ医がいる」と回答している者の割合は、10歳代・20歳代では32.6%、70歳以上では86.7%と、年代が上がるにつれて増加していた。

地域別では、南九州市（62.5%）および指宿市（59.6%）においては「かかりつけ医がいる」と回答した人の割合が高かったが、いちき串木野市では「かかりつけ医がいる」と回答した割合が40%と低く、逆に「かかりつけ医がない」（48%）と答えた者のほうが多かった。

[かかりつけ医の有無]



問5 あなたには、かかりつけ医がいますか。

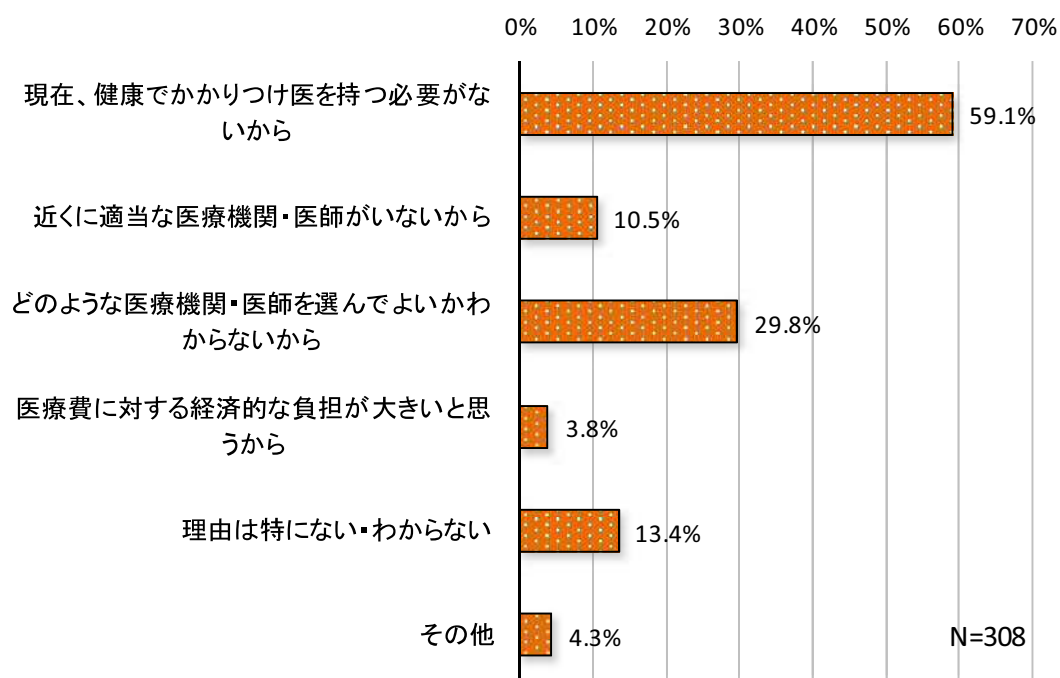
		サンプル数	いる	よい ない と思う	いない	わからない	無回答
		上段:実数(人) 下段:割合(%)					
全体		962 100.0%	494 51.4%	219 22.8%	228 23.7%	20 2.1%	1 0.1%
性別	男性	485 100.0%	257 53.0%	91 18.8%	128 26.4%	8 1.6%	1 0.2%
	女性	476 100.0%	236 49.6%	128 26.9%	100 21.0%	12 2.5%	0 0.0%
	無回答	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
年代別	10歳代・20歳代	46 100.0%	15 32.6%	14 30.4%	15 32.6%	2 4.3%	0 0.0%
	30歳代	128 100.0%	43 33.6%	40 31.3%	41 32.0%	4 3.1%	0 0.0%
	40歳代	252 100.0%	91 36.1%	82 32.5%	74 29.4%	4 1.6%	1 0.4%
	50歳代	265 100.0%	142 53.6%	52 19.6%	65 24.5%	6 2.3%	0 0.0%
	60歳代	209 100.0%	149 71.3%	25 12.0%	31 14.8%	4 1.9%	0 0.0%
	70歳以上	60 100.0%	52 86.7%	6 10.0%	2 3.3%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
居住地	鹿児島市	696 100.0%	353 50.7%	159 22.8%	170 24.4%	14 2.0%	0 0.0%
	日置市	54 100.0%	29 53.7%	12 22.2%	12 22.2%	1 1.9%	0 0.0%
	いちき串木野市	25 100.0%	10 40.0%	4 16.0%	8 32.0%	3 12.0%	0 0.0%
	枕崎市	30 100.0%	14 46.7%	9 30.0%	5 16.7%	1 3.3%	1 3.3%
	指宿市	52 100.0%	31 59.6%	10 19.2%	11 21.2%	0 0.0%	0 0.0%
	南九州市	40 100.0%	25 62.5%	6 15.0%	9 22.5%	0 0.0%	0 0.0%
	南さつま市	32 100.0%	17 53.1%	7 21.9%	7 21.9%	1 3.1%	0 0.0%
	その他	33 100.0%	15 45.5%	12 36.4%	6 18.2%	0 0.0%	0 0.0%
医療 機関 の 受診 状況	定期的に通院	446 100.0%	350 78.5%	46 10.3%	39 8.7%	10 2.2%	1 0.2%
	1年以内に受診	423 100.0%	124 29.3%	144 34.0%	148 35.0%	7 1.7%	0 0.0%
	3年以内に受診	65 100.0%	15 23.1%	24 36.9%	25 38.5%	1 1.5%	0 0.0%
	3年以上未受診	25 100.0%	3 12.0%	4 16.0%	16 64.0%	2 8.0%	0 0.0%
	無回答	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

② かかりつけ医がない理由

全年代において、かかりつけ医がない理由として「現在、健康でかかりつけ医をもつ必要がないから」という回答の割合が最も高く（59.1%）、次いで「どのような医療機関・医師を選んでよいかわからないから」と回答する人が多かった（29.8%）。一方、年代が上がるにつれて、「近くに適切な医療機関・医師がないから」という回答の割合が上昇した。

「かかりつけ医がない」と回答した者の割合が高かったいちき串木野市では、他地域と比べて「現在、健康でかかりつけ医をもつ必要がないから」と回答した者の割合が最も高かった（83.3%）が、地域と健康との間には一定の相関は認められなかった。

[かかりつけ医がない理由]



問6 かかりつけ医がない理由は何ですか。

		サンプル数	要り現 がっ在 ないけ、 い医健 かを康 ら持で らつか 必か	い機近 か関く ら・に 医適 師当 がな い医 な療	かよ関 らい・の か医よ わか師 からを ら選な ないん で療 機	い済医 と的療 思な費 うなに か負対 ら担す がら大 き経	わ理 か由 ら特 はな い に ない ・	その他
		上段:実数(人) 下段:割合(%)						
全体		447	264 59.1%	47 10.5%	133 29.8%	17 3.8%	60 13.4%	19 4.3%
性別	男性	219	126 57.5%	21 9.6%	57 26.0%	8 3.7%	40 18.3%	8 3.7%
	女性	228	138 60.5%	26 11.4%	76 33.3%	9 3.9%	20 8.8%	11 4.8%
	無回答	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
年代別	10歳代・20歳代	29	23 79.3%	2 6.9%	8 27.6%	2 6.9%	2 6.9%	0 0.0%
	30歳代	81	46 56.8%	7 8.6%	25 30.9%	4 4.9%	14 17.3%	5 6.2%
	40歳代	156	93 59.6%	14 9.0%	45 28.8%	8 5.1%	24 15.4%	4 2.6%
	50歳代	117	63 53.8%	14 12.0%	38 32.5%	3 2.6%	15 12.8%	8 6.8%
	60歳代	56	34 60.7%	8 14.3%	16 28.6%	0 0.0%	5 8.9%	1 1.8%
	70歳以上	8	5 62.5%	2 25.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%
	無回答	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
居住地域	鹿児島市	329	189 57.4%	33 10.0%	109 33.1%	13 4.0%	40 12.2%	17 5.2%
	日置市	24	16 66.7%	5 20.8%	6 25.0%	1 4.2%	2 8.3%	1 4.2%
	いちき串木野市	12	10 83.3%	0 0.0%	4 33.3%	1 8.3%	1 8.3%	1 8.3%
	枕崎市	14	9 64.3%	2 14.3%	5 35.7%	1 7.1%	1 7.1%	0 0.0%
	指宿市	21	14 66.7%	0 0.0%	3 14.3%	0 0.0%	6 28.6%	0 0.0%
	南九州市	15	12 80.0%	2 13.3%	1 6.7%	0 0.0%	1 6.7%	0 0.0%
	南さつま市	14	7 50.0%	1 7.1%	3 21.4%	0 0.0%	4 28.6%	0 0.0%
	その他	18	7 38.9%	4 22.2%	2 11.1%	1 5.6%	5 27.8%	0 0.0%
医療機関の受診状況	定期的に通院	85	30 35.3%	14 16.5%	39 45.9%	2 2.4%	9 10.6%	5 5.9%
	1年以内に受診	292	186 63.7%	27 9.2%	75 25.7%	12 4.1%	41 14.0%	13 4.5%
	3年以内に受診	49	32 65.3%	6 12.2%	18 36.7%	2 4.1%	7 14.3%	0 0.0%
	3年以上未受診	20	15 75.0%	0 0.0%	1 5.0%	1 5.0%	3 15.0%	1 5.0%
	無回答	1	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

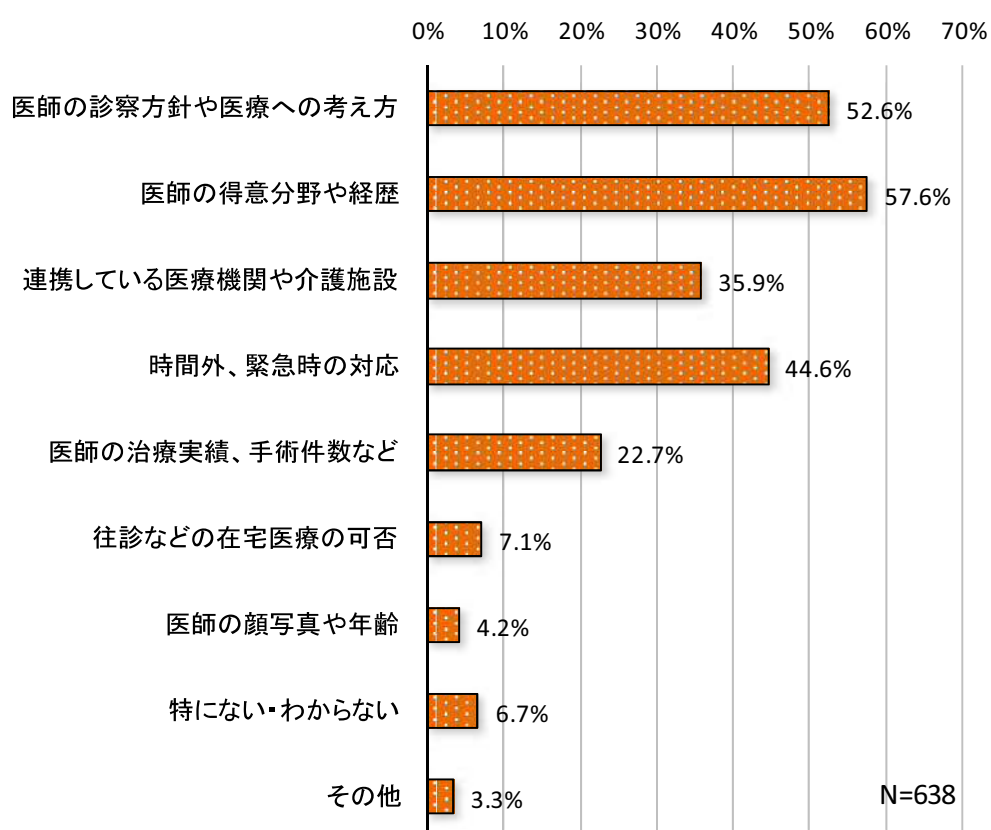
③ かかりつけ医を探すときに役立つ情報

かかりつけ医を探すときに役立つ情報としては、若年者では「医師の診察方針や医療への考え方」と答えた者の割合が最も高かったのに対し、30歳代以上では「医師の得意分野や経歴」と答えた者の割合が高く、医師の専門性や経験を重視する傾向がみられた。

子育て世代（30歳代、40歳代）では、「時間外、緊急時の対応」と回答する者の割合が、他年代に比較して高い傾向がみられた。また、60歳以上の世代では、「往診などの在宅医療の可否」と回答する割合が他の世代よりも高い傾向にあった。

受診頻度との関係では、「定期的に通院」、「1年以内に受診」と回答した比較的受診頻度が高い者は「医師の得意分野や経歴」と答えた者の割合が高く、「3年以内に受診」、「3年以上未受診」と回答した比較的受診頻度が低い者は「時間外・緊急時の対応」と回答する割合が最も高かった。

[かかりつけ医を探すときに役立つ情報]



問7 かかりつけ医を探すとき、どのような情報が役立つと思いますか（複数回答可）

		サンプル数	医師の診察方針や医療への考え方	医師の得意分野や経歴	連携している医療機関や介護施設	時間外、緊急時の対応	医師の治療実績、手術件数など	往診などの在宅医療の可否	医師の顔写真や年齢	特にない・わからない	その他
		上段:実数(人) 下段:割合(%)									
全体		962	506 52.6%	554 57.6%	345 35.9%	429 44.6%	218 22.7%	68 7.1%	40 4.2%	64 6.7%	32 3.3%
性別	男性	485	249 51.3%	287 59.2%	175 36.1%	201 41.4%	112 23.1%	25 5.2%	23 4.7%	34 7.0%	14 2.9%
	女性	476	257 54.0%	266 55.9%	169 35.5%	228 47.9%	105 22.1%	43 9.0%	17 3.6%	30 6.3%	18 3.8%
	無回答	1	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
年代別	10歳代・20歳代	46	28 60.9%	24 52.2%	9 19.6%	22 47.8%	12 26.1%	0 0.0%	1 2.2%	5 10.9%	0 0.0%
	30歳代	128	66 51.6%	76 59.4%	34 26.6%	65 50.8%	31 24.2%	9 7.0%	10 7.8%	13 10.2%	9 7.0%
	40歳代	252	128 50.8%	143 56.7%	92 36.5%	117 46.4%	50 19.8%	16 6.3%	12 4.8%	22 8.7%	8 3.2%
	50歳代	265	136 51.3%	151 57.0%	100 37.7%	116 43.8%	66 24.9%	16 6.0%	10 3.8%	10 3.8%	10 3.8%
	60歳代	209	114 54.5%	122 58.4%	93 44.5%	85 40.7%	45 21.5%	20 9.6%	7 3.3%	10 4.8%	3 1.4%
	70歳以上	60	34 56.7%	38 63.3%	17 28.3%	24 40.0%	14 23.3%	7 11.7%	0 0.0%	2 3.3%	2 3.3%
	無回答	2	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%
居住地	鹿児島市	696	377 54.2%	400 57.5%	256 36.8%	309 44.4%	157 22.6%	45 6.5%	29 4.2%	39 5.6%	26 3.7%
	日置市	54	34 63.0%	27 50.0%	23 42.6%	24 44.4%	11 20.4%	6 11.1%	1 1.9%	4 7.4%	1 1.9%
	いちき串木野市	25	10 40.0%	11 44.0%	4 16.0%	11 44.0%	6 24.0%	2 8.0%	2 8.0%	6 24.0%	1 4.0%
	枕崎市	30	12 40.0%	17 56.7%	10 33.3%	9 30.0%	6 20.0%	1 3.3%	1 3.3%	3 10.0%	0 0.0%
	指宿市	52	25 48.1%	36 69.2%	14 26.9%	27 51.9%	14 26.9%	3 5.8%	3 5.8%	5 9.6%	2 3.8%
	南九州市	40	18 45.0%	21 52.5%	12 30.0%	18 45.0%	5 12.5%	4 10.0%	1 2.5%	1 2.5%	0 0.0%
	南さつま市	32	14 43.8%	23 71.9%	12 37.5%	16 50.0%	8 25.0%	2 6.3%	0 0.0%	3 9.4%	1 3.1%
	その他	33	16 48.5%	19 57.6%	14 42.4%	15 45.5%	11 33.3%	5 15.2%	3 9.1%	3 9.1%	1 3.0%
医療機関の受診状況	定期的に通院	446	238 53.4%	263 59.0%	181 40.6%	173 38.8%	99 22.2%	34 7.6%	16 3.6%	21 4.7%	17 3.8%
	1年以内に受診	423	222 52.5%	251 59.3%	136 32.2%	206 48.7%	98 23.2%	30 7.1%	18 4.3%	35 8.3%	13 3.1%
	3年以内に受診	65	32 49.2%	28 43.1%	22 33.8%	36 55.4%	14 21.5%	3 4.6%	5 7.7%	6 9.2%	2 3.1%
	3年以上未受診	25	12 48.0%	12 48.0%	4 16.0%	13 52.0%	7 28.0%	1 4.0%	1 4.0%	2 8.0%	0 0.0%
	無回答	3	2 66.7%	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(3) 通常の診療時間以外における受診について

① 最近1年間の時間外診療受診の有無

最近1年間の時間外診療については、「ない」と回答した者の割合が高く（88.4%）、年代が上がるにつれて、時間外診療を受けない比率が60歳代をピーク（94.7%）に高くなり、70歳以上で低下した（88.3%）。

居住地による時間外診療の受診状況への影響は特に認められなかった。

[最近1年間の時間外診療受診の有無]

